

# 抜歯同意書

親知らずの抜歯をお受けになる患者様へ

多くの場合、以下のような症状が出る場合があります。

- 1. 術後2～3日が腫れのピークで殆どの場合1～2週間後には消退します。
- 2. 抜歯後、腫れに伴い一時的に口が開きにくくなる場合があります。
- 3. 術後の出血に伴い、頬に内出血斑が生じることがあります。これは一時的なもので、約2週間程度で自然に消退します。
- 4. 創部を縫合した場合は7～14日後に抜糸をします。糸を長い間放置すると、糸に細菌が付着し感染を起こすことがあります。
- 5. 強くうがいをしたり、炎症があった歯を抜いた場合は、抜歯窩の骨が露出して「ドライソケット」と呼ばれる状態になり持続的な痛みを生じることがあります。
- 6. 抜歯後、知覚過敏などの症状が隣の歯に現れることがあり、被せ物をしている場合には、破折・脱離の可能性もあります。
- 7. 下顎智歯の場合、まれに手術した側の下唇や歯肉、歯に感覚異常や知覚鈍麻が生じることがあります。これは抜く歯が下顎の中を通っている神経に近接しているため生じるもので、まれに軽いしびれが残ることもあります。「親知らず」の抜歯については、発生頻度が0.6%程度と報告されています。
- 8. 極めてまれに舌のしびれが生じる可能性があります。「親知らず」の抜歯については発生頻度が0.1%程度と報告されています。
- 9. 上顎臼歯の場合、歯根と鼻の横の上顎洞（副鼻腔のひとつ）が近く抜歯窩と交通し、水や空気が鼻から漏れることがあります。

医療法人社団 横浜駅西口歯科

上記の説明を受けて、今回の抜歯に同意いたします。

年 月 日

患者氏名 \_\_\_\_\_

(保護者氏名) \_\_\_\_\_